

## 平成 29 年度 学校評価目標設定

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	「豊かに生きる力」を育み、自立と社会参加を目指し、キャリア教育の視点を持った、系統性、連続性のある教育課程を再構築する。	① 校内研究（授業計画・授業実践）の3年目のまとめとして、年間指導計画の系統性を計る。	① 「麻生の教育課程（試案）」を活用した授業の年間計画を作成し、試案の検証を行う。 ② 授業のユニバーサルデザイン化を進め、授業の評価の標準化をはかる。	① 試案を検証し「麻生の教育課程」を作成できたか。 ② 授業の評価基準を整理できたか。
2	児童・生徒指導・支援	個々のニーズに応じた合理的配慮の視点を持った指導・支援を推進する。	① 個別教育計画の作成・評価の中で、「合理的配慮」の視点を明確にする。	① 個別教育計画について、マニュアルと事例集の活用研修を、全体、学部ごとに実施する。 ② 児童生徒支援会議やケース会の支援方針についても必要に応じて個別教育計画に反映させる。	① 合理的配慮の視点が明確となる研修が実施できたか。職員の評価B以上80%以上。 ② ケース会等の記録に「個別教育計画に明記」等を記載する。
3	進路指導・支援	一人ひとりのライフステージに応じた進路指導・支援の充実を図る。	① 生活年齢に応じた進路学習など学習内容を見直す。 ② 保護者への進路に関する情報提供を見直す。	① 「麻生のキャリア教育」を基に、学部ごとに進路学習を見直す。 ② 進路の流れや、進路情報について、ホームページや掲示の工夫を図る。	① 学部研究においてキャリア教育の視点を持って、授業内容を整理できたか。 ② 新しい情報提供の方法と活用ができたか。保護者のアンケート評価B以上80%。
4	地域等との協働	「インクルージョンを目指す学校」として、インクルーシブ教育推進のために地域のセンター的機能の充実を図る。	① インクルーシブ教育に係る研修・相談の充実を図る ② パラスポーツの推進、拠点づくりに取り組む。	① 巡回相談のアンケートで、地域のセンター的機能について評価を行うと共に、公開研修会のニーズを把握し広報を行う。 ② NPOとの連携により、施設開放を活用したパラスポーツの企画運営に取り組む。	① アンケート結果から研修ニーズ、相談傾向の把握ができたか。評価B以上90%。 ② NPOとの連携により新たなパラスポーツの開発を行うことが出来たか。
5	学校管理 学校運営	安全で児童生徒にわかりやすい教育環境整備に取り組む。防災教育の実施、災害時の危機管理について整備し教職員全員で動ける体制を作る。	① 新しいホームページの活用と充実を図る。 ② 教員の防災に関する意識を高め、組織体制を構築する。	① ホームページの項目について学期に1回見直す。 ② 学校周辺の環境把握と災害時の避難から保護者引渡しまでの緊急時シミュレーションを実施する。	① 教職員アンケート評価B以上80%。 ② 教職員全員がDIGの研修を実施したか。研修後のアンケートで理解度の評価B以上80%。